第109期 事業報告書

BUSINESS REPORT

タカセ株式会社

証券コード：9087

タカセグループの事業内容

タカセのかかげる ADD SYSTEM－価値創造とは？

- **Solution** ▶ 多くの事例に基づく「提案力」を活かした物流課題の解決
- **Operation** ▶ これまでの豊富な経験をベースとした「現場力」で多様なニーズに対応
- **Global** ▶ これまで築き上げた各国提携先との強靭な「ネットワーク」を最大限に活用

物流サービス一覧

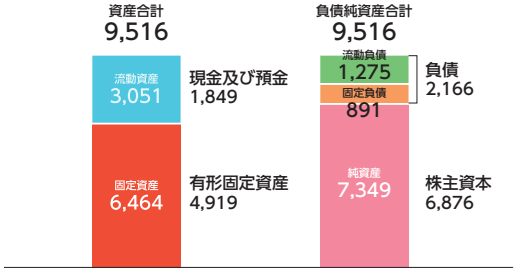
物流センター運営業務	商品管理からエンドユーザー配送までワンストップで行う物流センターの運営
物流管理システム活用による物流提案	当社開発WMSシステムにより、最適な物流体制構築を提供 システム活用による効率的な管理の提案
流通加工業務	値付け、ラベル貼り、ギフトラッピングなど様々な流通加工に対応
国際物流業務	国際的な生産・国際調達拠点の中心である中国・東南アジア・米国において国内同様のきめ細かな総合物流サービスを提供
各種輸送業務	陸上・海上・航空を問わず、当社グループのネットワークを最大限に活用し、きめ細かな輸配送サービスを提供
教育教材一貫管理業務	教育教材のデータ管理、各種媒体のオーサリング、オンデマンド教材作成、教材の個別アソート、発送まで一貫でサービスを提供
薬事物流業務	当社所有の医療機器・化粧品・医薬部外品の製造業、医療機器販売業免許を活用した物流サービスを効率的に高品質で提供

財務ハイライト

（百万円）

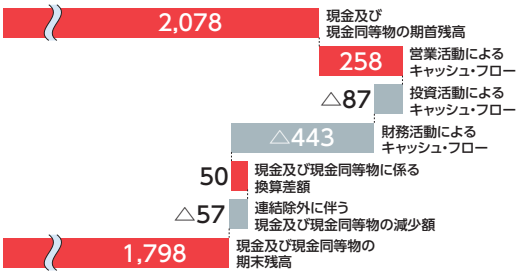
	実績			通期業績予想
	当期	前期	増減	
営業収益	8,345	8,190	155	8,600
営業利益	79	171	△92	200
経常利益	117	224	△107	230
親会社株主に帰属する当期純利益	155	305	△150	180

連結貸借対照表（百万円）



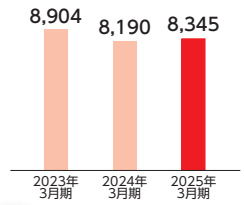
当期末(2025年3月31日現在)

連結キャッシュ・フロー計算書（百万円）

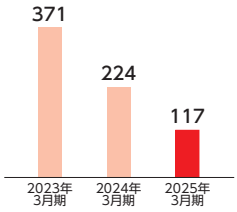


当期(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

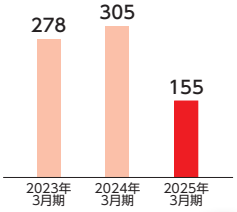
営業収益（百万円）



経常利益（百万円）



親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）



ポイント解説 1 連結損益計算書

期初からの収受料金改定の効果、主要顧客における業務取扱量が増加したことを受け、前年同期間と比較して増収となりました。一方で利益面につきましては、収受料金改定による利益率改善はあったものの、作業コストの上昇を補うには至らず、流通加工業務におけるコスト削減が当初の計画どおりに進まなかったことに加え、中国現地法人においてもコスト削減が進まず、減益となりました。(当期において子会社4社を清算し、特別利益に子会社清算益1億13百万円、子会社清算損27百万円をそれぞれ計上しています)

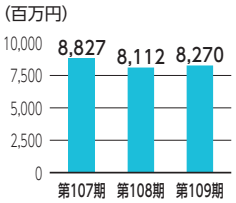
ポイント解説 2 連結貸借対照表

当期末における総資産は95億16百万円(前期末比3億92百万円の減少)、負債は21億66百万円(前期末比5億15百万円の減少)、純資産は73億49百万円(前期末比1億23百万円の増加)となり、自己資本比率は77.2%(前期末は72.9%)となりました。湾岸地区の好立地にある自社保有施設の有効活用ならびに既存施設の更新等について検討を進めていきます。また、剰余金につきましては、株主様への還元、従業員への還元、成長投資、内部留保のバランスを考えながら、活用してまいります。

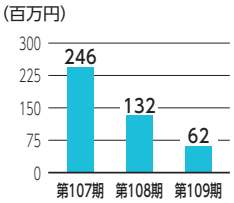
セグメント情報

総合物流事業

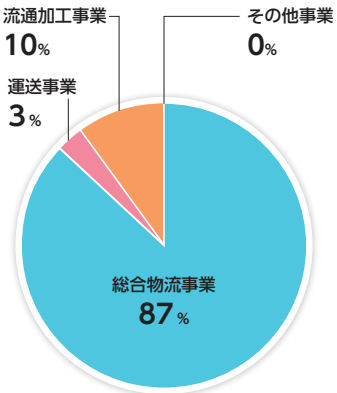
営業収益
82億70百万円
対前年比　1.9%増



営業利益
62百万円
対前年比　52.9%減

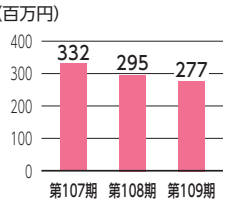


営業収益構成比

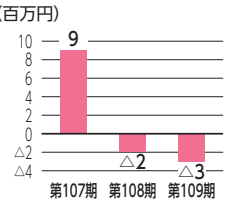


運送事業

営業収益
2億77百万円
対前年比　6.1%減

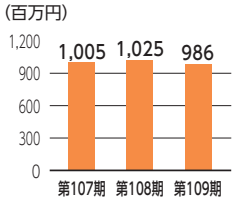


営業利益
△3百万円
対前年比　－

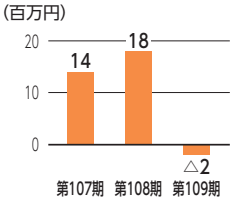


流通加工事業

営業収益
9億86百万円
対前年比　3.8%減

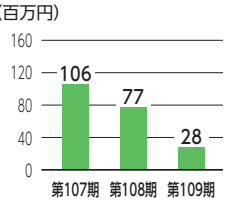


営業利益
△2百万円
対前年比　－

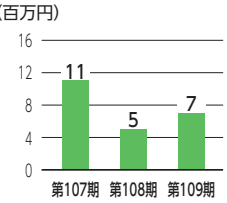


その他事業

営業収益
28百万円
対前年比　63.6%減



営業利益
7百万円
対前年比　40.0%増



セグメント分析

総合物流事業は、収受料金の改定および主要顧客における業務取扱量が増加したことから増収となったものの、親会社ならびに海外子会社において当初計画していたコスト削減が進まなかったことから減益となりました。運送事業、流通加工事業は、ともに業務取扱の減少を受け減収となり、利益面でも営業収益の減少によりコストの上昇を補うことができず、減益となりました。2025年度は営業収益の拡大と利益率の改善に向けて取組んでまいります。

TOPメッセージ

代表取締役社長

大宮司典夫

当連結会計年度におきまして、当社グループは、社訓である「まごころ」、社是「ADD SYSTEM」（当社グループが物流システムの創造にたゆまぬ努力を続け、顧客に貢献すること）を基礎として、これまで頂いてきた当社グループのサービスへの信頼をさらに深め、顧客目線を大切にしたスピード感のある品質第一のサービス提供を行うべく、グループ一丸となり業務に取組んでまいりました。特に、「社会貢献度の高い分野への物流サービス提供」、「新規顧客の獲得」、「適正料金の収受」の実現については、重点課題として積極的に取組を進めてまいりました。

また、期初に事業構造改革によるコスト削減を目的として発足したプロジェクトにおいて基幹営業所の業績改善に取組んだことに加え、当社グループの強みである流通加工業務において、高いサービスレベルを維持することを前提としながら、作業人員数の見直しや適正な配置、作業費に占める固定費圧縮にも引続き取組み、業務効率化についても取組んでまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、営業収益が期初からの収受料金改定効果、主要顧客における業務取扱量が増加したことを受け、前年同期間と比較して、1.9%増の83億45百万円となりました。利益面につきましては、一部顧客との間で収受料金の改定による利益率改善が実現したものの、最低基準賃金上昇等の作業コスト上昇を補うには至らなかったこと、流通加工業務におけるコスト削減が当初の計画どおりに進まなかったこと、建物および設備の維持にかかる修繕費が増加したことに加え、中国現地法人において年度を通じてコスト削減が進まなかった影響もあり、営業利益は、前年同期間と比較して、53.8%減の79百万円となり、経常利益においては、営業外収益の受取賃貸料が減少した影響が大きく、同47.8%減の1億17百万円となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、当連結会計年度において子会社4社の清算が結了したことにより、内3社（雅達貨運（中山）有限公司・株式会社システム創研・萬警備保障株式会社）の清算による子会社清算益1億13百万円、エーディーディー・エクスプレス株式会社の清算による子会社清算損27百万円をそれぞれ計上したものの、前連結会計年度において「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」上の会社分類を変更したことによる繰延税金資産の追加計上があったことの反動から、同49.3%減の1億55百万円となりました。

翌期の見通しにつきましては、連結営業収益は86億円、連結営業利益は2億円、連結経常利益は2億30百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は1億80百万円となっております。特に利益面につきましては、前連結会計年度において事業構造改革に向けたプロジェクトで立案し、実行してきた首都圏の基幹営業所における営業総利益率改善のための施策の効果を顕在化させることに加え、当社の強みであるアセンブリ作業においてこれまで以上の効率化に努め、営業原価を抑制することによって、見通しを上回る業績となるように取組んでまいります。

また、2025年度から“既存事業の収益力強化と新たな収益構造を確立する”ことをテーマとして、年度ごとに取組むべき課題を明確にしながら「足元の業績立て直し」「事業基盤の強化」「新たな事業領域・価値の創造」「骨太な収益構造の確立」に向けてグループ一丸となって積極的にチャレンジしてまいります。

タカセグループのSDGsへの取組

8 働きがいも経済成長も

働きやすい環境づくり

昨今、日本では少子高齢化が進み、働き手の減少、および労働人口の高年齢化は大きな問題となっております。その中で、当社従業員が働きやすい環境整備の取組をご紹介します。

(1)「くるみん認定」の取得

当社は2024年10月28日付で厚生労働省より「くるみん認定」を取得しました。

「くるみん認定」は次世代育成支援対策推進法に基づく「一般事業主行動計画」に定めた目標を達成し、その他の要件を満たした企業を「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣が認定する制度です。

今回は2022年4月1日から2024年3月31日までの行動計画に対して、コロナ禍より実施していた時差出勤制度や「失効年次有給休暇の積立制度（ストック休暇）」の社内規則化等を全社員に対して行った、という取組により認定を受けることができました。

(2) 介護休暇の法定を上回る日数の付与

「一般事業主行動計画」は2024年3月31日以降も新たな計画を定めています。

新たな計画は期間を2024年11月1日～2026年3月31日としています。

これまで計画目標の中心だった「育児」に加えて、「介護」に対しても会社として仕事との両立を支援できるよう「介護休暇の法定を上回る日数の付与」を目標に定め、2025年4月1日付で社内規則化を実施しました。

当社では今後も、くるみん認定や現在の行動計画の内容に留まらず、様々な視点から、社員が仕事と家庭生活を両立できる働きやすい環境づくりと制度の整備に、継続して取組んでまいります。

13 気候変動に具体的な対策を　15 陸の豊かさも守ろう

紙の削減と再生紙使用の取組

当社グループでは、数年前より業務の効率・適正化と環境への配慮の両立を実現することから、社内帳票のペーパーレス化を促進しております。これまでの事例としては、社内ワークフローシステムの導入により、基本的な社内回覧書類の印刷の必要がなくなったほか、給与明細に関しても電子化システムを導入し、紙の削減を実施しております。

また、業務の都合上現在も必要な紙についても、環境配慮の対策を行っています。例えば、昨年12月より、当社グループの名刺を使用済みコピー用紙から作られた100%再生紙へと変更いたしました。これからも当社グループは自然の環境保全に向けて、紙書類の削減に積極的に取組んでまいります。

会社情報（2025年3月31日現在）

会社概要

商　　号	タカセ株式会社
本店所在地	〒105-0004　東京都港区新橋一丁目10番9号
創　　業	1872年
設　　立	1922年2月22日
資 本 金	2,133,280千円
上場内容	東京証券取引所　スタンダード市場
従業員数	65名

取締役および監査役

代表取締役社長	大宮司 典夫	取締役	髙田　忠美
取締役副社長	笹岡　幹男	監査役	栃木　博
常務取締役	赤澤　紀之	監査役	橋本　和典
取締役	今井　康晴	監査役	奥川　広行

株式の状況

発行可能株式総数	5,400,000株
発行済株式の総数	2,109,026株
株主総数	616名

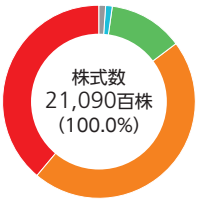
大株主

株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
大東港運株式会社	1,600	7.93
公益財団法人タカセ国際奨学財団	1,383	6.86
東京中小企業投資育成株式会社	1,306	6.47
株式会社三協	1,176	5.83
クロダ株式会社	1,066	5.28
天塩倉庫株式会社	1,056	5.23
株式会社みずほ銀行	943	4.67
城南信用金庫	846	4.19
株式会社商船三井	802	3.98
日本生命保険相互会社	653	3.24

(注)当社は、自己株式908百株を保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。

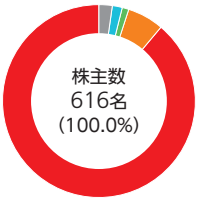
所有者別株式分布状況

株式数



金融商品取引業者	217百株	(1.03%)
外国法人等	194百株	(0.92%)
金融機関	2,665百株	(12.64%)
その他の法人	9,785百株	(46.40%)
個人・その他	8,227百株	(39.02%)

株主数



金融商品取引業者	14名	(2.27%)
外国法人等	11名	(1.79%)
金融機関	6名	(0.97%)
その他の法人	39名	(6.33%)
個人・その他	546名	(88.64%)

事業内容

倉庫業・梱包業・通関業・海上貨物取扱業
航空貨物取扱業・自動車運送取扱業・輸出入貨物国際一貫輸送業
海運代理店業・航空貨物代理店業・その他物流管理全般

物流サービス一覧

物流センター運営業務・物流管理システム活用による物流提案
流通加工業務・国際物流業務・各種輸送業務・教育教材一貫管理業務
薬事物流業務

事業所・グループ会社

営業所

東京港営業所	川崎港営業所	大阪営業所
大井平和島事業所	平和島倉庫	福岡営業所
川崎営業所	札幌営業所	東名川崎倉庫

グループ会社

タカセ物流株式会社　　株式会社タカセ運輸集配システム

海外現地法人

香港
ADD SYSTEM COMPANY LTD.

ロサンゼルス
TAKASE ADD SYSTEM, INC.

上海
高瀬物流(上海)有限公司
高瀬国際貨運代理(上海)有限公司

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当金　：3月31日 中間配当金(中間配当実施の場合)：9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

お知らせ

■ **住所変更、単元未満株の買取等のお申し出について**
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■ **未払配当金の支払いについて**
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ミックス 紙 | 責任ある森林管理を支えています FSC® C022915
UD FONT
VEGETABLE OIL INK
この印刷物は、FSC®認証紙を使用し、植物油100%の「植物油インキ」を使用して印刷しています。